

系 統 不飽和ポリエステル樹脂系プレパックドコンクリート

特 長 1) 速硬化性、低温硬化性に優れる。  
2) 寸法安定性に優れる。

用 途 1) 急速施工が必要な沓座補修用

配 合 比	# 7 0 7	乾燥粗骨材 # 8 1 2	合計
配合比(重量比)	1	3.7	
1 m <sup>3</sup> 当たりの 標準使用量 (kg)	435	1615	2050

※ # 7 0 7 と乾燥粗骨材の配合比は施工箇所によって異なる場合がある。

荷 姿 1) # 7 0 7 … 1 0 kg セット (主剤+硬化剤+促進剤+充てん材)  
2) 接着剤用乾燥粗骨材 # 8 1 2 … 3 0 kg/袋

可使時間の目安 # 7 0 7 の可使時間

温 度 [°C]	5	10	20	30
促 進 剤 [本]	3	2	1	1
可使時間 [分]	25	30	20	8

比 重 2.05 ± 0.10 (硬化物)

使 用 方 法 1) 打設面に # 7 0 7 プライマーを 0.2 kg/m<sup>2</sup> 塗布し、乾燥後、# 8 1 2 骨材を充てんする。  
2) # 7 0 7 の主剤、硬化剤、充てん材をセット単位で均一になるまで混合攪拌し、その後、所定量の促進剤を加え混合攪拌する。  
3) 骨材が充てんされた型枠内に注入する。

使用上の注意 1) 接着面の表面処理を十分に行う。(レイタンス、汚れ、水分の除去)  
2) 促進剤を添加しないと硬化しないので、促進剤を必ず添加すること。  
3) 促進剤の添加量は施工温度における強度発現性と可使時間を考慮し決定する。  
4) 充てん材を添加しないと付着性、低収縮性が低下するので、必ず添加すること。  
5) 硬化が速いので、可使時間に十分注意する。

### ⚠ 注 意

- 健康上、注意を要する物質を含有しています。
- 皮膚に付着すると“かぶれ”を起こすおそれがあります。
- 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
- 詳細についてはショーボンド # 7 0 7 の安全データシート (SDS) を参照してください。